

令和元年度事業計画

《事業活動方針》

本市観光を取り巻く状況は、人口減少社会が進み観光業界においても慢性的な人手不足が続く中、急増するインバウンド観光客の受入体制や広域観光連携が十分でないこと、さらには、海外航空定期路線の減便及び休止、教育旅行が依然の状況に戻ってきていないことなどから厳しさを増しています。一方では、温暖な気候と充実したスポーツ施設を生かした各種スポーツ大会やスポーツキャンプが数多く実施されるなど、本市の特性を生かした取り組みは一定の成果を上げています。

このような中、令和元年度は、ゴールデンウィークの10連休に始まり、ラグビーワールドカップ開催に伴う日本代表とイングランド代表の合宿、7月の南部九州高校総体、9月のISAワールドサーフィンゲームスの開催などにより、観光客数の増加が見込まれるとともに本市における経済効果も大いに期待されるところです。

当協会としては、このような状況を踏まえ、記紀編さん1300年に係る取組みとして日向神話を活用した情報発信及び広域的な展開と連携を進めるとともに、WEBの特性を活用した特色ある情報発信に努めて参ります。また、交流人口の多い隣県へのセールスを強化し、誘客を図ることを通して滞在型観光を推進します。

受入体制については、青島で運営している渚の交番も10年目を迎え、今後のアクションプランを策定しさらなる体制強化を図るとともに、2020年秋の開業に向けて進んでいる宮崎駅西口の再開発計画を視野に入れながら、宮崎県の新たな顔と中心市街地との連携を図って参ります。また、本市が有する「食」「自然」「神話」「スポーツ」といった素晴らしい魅力をさらに全国にアピールし、特に、一ツ葉エリアと県内最大の歓楽街であるニシタチエリアへの誘客と受入体制をさらに強化いたします。

加えて、県・市をはじめ周辺観光地及び各観光協会との連携を図るとともに、会員の皆様のご協力をいただきながら、会員数の増加に努め、収益性のある事業構築を図り経営安定に努めて参ります。

各事業は、公益法人認定基準に準じ、事業グループ毎に分類。

公益目的事業

公1. 誘致活動事業

1. 観光客誘致拡大事業

近年、東九州自動車道の全線開通やLCCの就航など交通網の充実が図られ、国内外からの観光入込客数、観光消費額ともに増加傾向にある。

そのような中、青島エリア、一ツ葉エリアの滞在型観光をメインとした宮崎への誘客事業など、本市観光を取り巻く状況の変化に係る誘客対策として、旅行会社や雑誌編集者等様々な分野におけるキーマンの招聘や観光キャンペーンの実施を通して、シーズナリティにあわせた旅行商品の造成、雑誌やWEBへの記事掲載等に繋げ、観光PRの推進や集客面等での効果を高め、更なる観光入込客数や宿泊客の増加を目指し、観光客誘致対策の強化を図る。

特に、本年度は、9月、10月の誘客強化を図り、11月、2月に開催されるプロスポーツキャンプの消費拡大と宿泊効果に繋がる取組みや情報発信に努め誘客を図る。

(1) 主要旅行代理店集中送客宣伝事業

主要旅行代理店及びキャリアが実施する集中送客キャンペーンを助成し、観光客の誘致拡大に努める。

(2) 主要協定旅館連盟助成事業

(3) 旅行代理店・旅行雑誌編集者等の招聘事業

(4) 主要イベント連携事業

2. 教育旅行支援事業

平成28年に発足した宮崎県教育旅行誘致推進協議会の会員と共に県内関係機関が一体となった「オールみやざき」で国内外の誘致受入事業を展開し教育旅行の誘致に努める。

教育旅行による宿泊・体験プログラムを通じ宿泊者数の増加を図る。

宮崎市内に宿泊された方、みやざき元気体験プログラムを利用された方を対象に、平成23年度から実施している教育旅行への補助制度については2021年度までに誘致決定した学校に対しての宿泊補助を継続していく。

宿泊補助は、1人あたり3,000円、体験補助は、1人あたり2,000円

(1) 教育旅行誘致補助事業

3. 観光情報発信事業

宮崎市の観光やグルメ、温泉、体験、イベント等の情報を旅行雑誌や新聞掲載、ビジョン広告等の各種媒体を通しての情報発信、キャンペーン展開による幅広い年齢層の観光客へのPRを通して、宮崎への旅の動機づけを喚起させ誘客に努める。

当協会のホームページが旧式であることから、本年度は観光消費額の拡大に繋がるコンテンツを組成し、時代のニーズに適した大幅なリニューアルを行う。また、昨年引き続き、個人をターゲットとしたソーシャルメディアを活用した情報発信の強化、更には関西エリアでの宿泊者増の掘り起しなど、戦略的な観光誘客と効果的な事業展開を図る。

(1) 観光リゾート情報発信事業

① 関東地区情報発信事業

本市でキャンプを実施するプロスポーツチームと連携し、媒体とのタイアップを図り、観光情報やイベント情報などを幅広く発信し、宮崎への旅の動機づけを喚起させ観光誘客の来訪の促進に努める。

②九州地区情報発信事業

各種媒体と連携した集中プロモーションを実施し、テレビ局とのタイアップを図り、宮崎の魅力である景観やアクティビティ、食、各種イベントなど、さらなる情報発信に努め、特に、交流人口の多い、隣県へのセールスを強化し宮崎への誘客を図る。

③ソーシャルメディアを活用した情報発信

SNS上で個人ユーザーに向けた情報発信に努め、宮崎の豊かな観光資源の拡散に努める。

④関西誘客プロモーション事業

関西エリアをターゲットに、旅行者に特典を付与する旅行商品造成の支援を行う。さらには、県央リゾート推進協議会と連携したプロモーションを実施し、戦略的な観光誘客で、関西エリアでの宿泊者数増を目指す。

⑤ニシタチ誘客プロモーション事業

モニターツアーの造成等、「ニシタチ」のさらなる知名度アップに努め、その魅力を全国に発信し、県内外に広く「ニシタチ」の認知度の向上と誘客促進を図る。

⑥「宮崎で遊ぼう」観光誘客推進事業

県内36施設・約100種類のアクティビティを一本にまとめた「宮崎で遊ぼうクーポン」の利用者数の増加を図るとともに、観光客の周遊性・滞在性を向上させ、宿泊客数増の取り組みを行う。

(2) インバウンド関連事業

①外国人向け観光体験誘客推進事業<新規>

台湾、韓国、欧米豪の個人旅行者をターゲットに、お得なクーポンを付与し中心市街地やニシタチへの誘客と体験型旅行商品の造成販売に取り組む等、観光消費額の促進とリピーター獲得に繋げる。

(3) ホームページ関連事業

①WEBを活用した観光誘客推進事業<新規>

当協会のホームページが旧式で効果的な情報発信が難しいため、マーケティングに基づく戦略で誘客増と観光消費額の拡大に繋がるコンテンツを組成し、観光客のニーズと時代に適した効果的かつ有効的な情報発信を行う。

4. 観光資源活性化事業

県内各観光地と連携を図りながら、本市の魅力ある観光資源を活用した事業や本市にしかない新たな観光素材の開発、幅広い観光客層をターゲットにした誘客事業を展開する。

神話の舞台となっている一ツ葉・青島をはじめ、日向神話の魅力を県内外に効果的に発信し、滞在型観光を推進、更には宮崎ならではの「自然」「伝統」「文化」「食」等を取り入れた特色・魅力ある体験プログラムを造成し提案することで、観光客の誘致に努め、観光による地域振興に寄与する。

(1) 記紀編さん1300年記念事業

「日本をはじめた神々の国宮崎」をキャッチコピーとして神話の舞台となる青島、鶴戸神宮などの観光ルートをはじめ、県内の各観光地と連携を図りながら神話のふるさと宮崎をPRするとともに、神話を素材とした誘客を図り、宿泊者数の増加と滞在型観光の推進を図る。

(2) 宮崎体験旅行誘致活性化事業

5. 広報宣伝活動事業

宮崎への誘客を図るため、各地で開催される祭りの参加や本市の「自然」や「イベント」「食」「文化」などの誘客素材を取り入れた観光宣伝物（観光パンフレット、観光カレンダー等）の作成、さらには、宮崎の魅力ある景観を素材にした観光名刺の販売、各種イベントを記載した機関紙等の配布等、様々なツールを活用し、宮崎の観光情報を全国に発信し誘客活動を行う。本年度は第35代宮崎サンシャインレディの募集及び選考会を実施する。

- (1) 宮崎サンシャインレディ観光PR事業
観光客の誘客を促進するため、観光宮崎の親善使節として県内外での観光宣伝、各種大会、イベント等の歓迎行事に参加し、宮崎を幅広くPRする。
本年度は第35代宮崎サンシャインレディの募集及び選考会を実施する。
- (2) 機関紙
機関紙（Mコミュニケーション）の発行
年間の発行回数を6回から5回に変更し、紙媒体を削減する傍ら、新たにMコミュニケーションのWEBページを新設し、情報発信の強化を図り観光誘客に繋げる。
- (3) 観光誘致宣伝物作成事業
- (4) 誘致活動事業
- (5) 観光名刺印刷
- (6) まつり交流事業
- (7) 空港歓迎看板掲出事業

6. 国内外観光交流事業

中国山東省チンタオ旅游局及び(一社)旭川観光コンベンション協会、(一社)檜原市観光協会との友好盟約締結を機とした交流事業を実施し、本市の観光情報の発信はもとより、国内外からの観光誘客に努めると共に地域経済の発展に寄与していく。

- (1) 海外他友好都市交流事業
- (2) 観光団交流事業

公2. 観光客受入体制関連事業

1. 観光客受入事業

国内観光客や近年増加するインバウンド観光客に対し、観光案内等の各種サービスを提供し、周辺の観光地や施設との連携を図りながら利便性や周遊性の向上に努める。また、受入体制の充実を図るため、観光関係者向けに資質向上、スキルアップを目指した研修会等も開催する。

さらには、観光客の滞在時間の増加と満足度を高めるため、手ぶら観光を推進し、受入体制を強化することで、観光消費額の増加にも繋げていく。

(1) 観光インフォメーション管理運営事業

宮崎市観光案内所 青島観光インフォメーション管理運営事業

通年を通して宮崎県内の観光地を案内し、さらなる観光客の受入体制の充実と利便性の向上を図り、各種サービスを提供する。近年増加しているインバウンドに対する受入体制の充実にも努めていく。スタッフのスキルアップを図るため各種研修会にも参加しサービスの向上にも努める。

(2) 手ぶら観光周遊利用促進事業

宮崎の空・陸の玄関口である宮崎ブーゲンビリア空港、宮崎駅を訪れた観光客により宮崎の利便性と満足度向上を図るため、観光庁が推進する「手ぶら観光」に取り組み、受入体制の充実を図り、観光地等における滞在時間の増加に繋げる。また、サービス利用促進のため、手ぶら観光のPRと周知を強化し利用者増を目指す。

①手ぶら観光

受付場所：宮崎ブーゲンビリア空港、スポーツプラザ宮崎 J E R S E Y

利用料金：手荷物配送 1,000円/個（宮崎市内のホテルまでの当日配送）

手荷物一時預かり 500円/個（宮崎空港のみ）

- (3) 観光従事者研修会
- (4) 渚の交番整備・運営事業
- (5) レンタサイクル事業
- (6) おもてなしボランティア事業

2. 観光イベント推進事業

観光客をターゲットに、南国ムードを生かした、魅力ある宮崎の観光資源をPRするイベントの開催や新たな誘客素材の掘り起しと開発を行う。他のプロモーションとも連携を図り、より効果的な事業の展開を図る。また、新たな観光資源の開発や各種観光行事等の主催団体に対して、補助金等の助成を行い、地域活性化に努める。

(1) みやざきグルメとランタンナイト開催支援事業

口蹄疫の翌年から開催されている本イベントは、夏休み期間中の誘客素材として、今年で9回目、17日間とロングランで開催。「食」をメイン素材に大人から子どもまでが楽しむことのできる多彩な企画を実施し、県内外からの誘客促進を図る。

期 間：令和元年8月2日～18日

場 所：フローランテ宮崎

(2) フラおもてなし誘客推進事業

宮崎市の推進する「フラのメッカ宮崎」のイメージ定着を図る為、当協会も協力し、宮崎を訪れる観光客等に対して、イベント会場や観光地等様々な場所に於いて、フラによるおもてなしを実施し、宮崎の好印象付けを図る。

また、今年度は、当協会としても9月に実行委員会が開催するフラの大会へ、補助金として1,000,000円を拠出し、盛り上げを図る。

- (3) みやざき青島国際ビールまつり
- (4) 行事負担金
- (5) 新規事業開発事業
- (6) みやざきふるさと食材アピール事業

3. スポーツ観光受入事業

プロ野球やJリーグなどの宮崎キャンプ期間中、円滑なキャンプ受入環境を整備する。

キャンプ観戦の観光客の周遊性や利便性の向上に努め、渋滞等の交通対策緩和のため交通体制の整備、観光客の満足度を高める取り組みを行う。また、宮崎市内各所で、歓迎ムードを高め、賑わい創出に努める。

また、更なる「スポーツランドみやざき」のPRに努め、3球団連携事業など本市でしかできない取り組み等、効果的なイメージアップを図る。

(1) キャンプ受入事業

プロ野球3球団連携事業

1市で3球団がキャンプを行うのは全国的にも本市だけである。宮崎キャンプの話題性と3球団のキャンプ地の周遊性を高めるため、オリジナル3球団連携ロゴマークの入ったグッズなどの製作を通して、県内外からのキャンプ来場者の増加を図る。キャンプ期間中は、3球団連携のユニフォームを着用するなど、街全体で盛り上げムードを創出。更なる「スポーツランドみやざき」への集客を通し、観光振興を推進する。

(2) みやざきゴルフパラダイス事業

11月に開催される「ダンロップフェニックストーナメント」「LPGAツアーチャンピオンシップリコーカップ」の2大トーナメント、3月に開催される「アクサレディスゴルフトーナメント」など各トーナメントと連携しながら「宮崎＝ゴルフ」のイメージアップを図る。トーナメント会場や各ゴルフ場のPR、イベントの開催をはじめ、旅行商品の造成等を行う等、通年で宮崎のゴルフ環境の良さを全国に発信し、閑散期の誘客策にも取り組む。

国内外からの新たなゴルフ客向けの宮崎ブランドを構築しゴルフ客の増加に繋がるような施策を展開し誘客に努める。

(3) スポーツ等合宿・大会誘致受入事業

(4) Jリーグキャンプ誘致事業

(5) 観光スポーツイベント歓迎装飾事業

4. スポーツ観光セールス事業

宮崎でキャンプを行うプロ野球やJリーグチームの本拠地においてキャンプ地宮崎のPR及び宮崎キャンプへの誘客を図る。また、旅行会社やスポーツ団体等に対して、宮崎が全国に誇るスポーツ施設について、全国有数の日照時間・温暖な気候などの恵まれたスポーツ環境や支援・受入体制をセールスし、本市への誘致と受入に努める。

(1) キャンプ地みやざきスペシャルマッチ事業（Jリーグ）

カード：アビスパ福岡 VS FC琉球

期 日：令和元年10月5日

場 所：博多の森陸上競技場

(2) みやざきスペシャルゲーム開催事業

①京セラドーム大阪

宮崎市のスポンサーゲームと宮崎市内の企業団体がキャンプ地宮崎シリーズとして合同で2試合を開催。2日間で球団への表敬訪問や観光プロモーション、物産展を実施。

カード：オリックス・バファローズ VS 西武ライオンズ

期 日：令和元年5月18日 ※デーゲーム

※5月19日はキャンプ地宮崎応援隊が実施。

②福岡ヤフオクドーム

5月31日・6月1日・2日の3試合を球団が中心となり、「みやざきスペシャルDAYS」として開催。宮崎市のスポンサーゲームは1試合。

カード：福岡ソフトバンクホークス VS 東北楽天ゴールデンイーグルス

期 日：令和元年6月1日 ※デーゲーム

③東京ドーム

球団への表敬訪問や宮崎市の観光物産展を開催。

カード：読売ジャイアンツ VS 千葉ロッテマリーンズ

期 日：令和元年6月8日 ※デーゲーム

(3) スポーツランド情報発信事業

(4) スポーツセールス事業

5. 少年少女スポーツ大会支援事業

少年少女たちが、野球やゴルフのスポーツ大会を通じてスポーツ交歓や交流を図るほか、未来を担う子供たちの健全な育成及びスポーツ振興に寄与することを目的に、ジュニアスポーツ大会の開催及び支援を行う。

(1) みやざきフェニックス・リーグ杯サマーベースボールトーナメント（少年少女野球大会）

(2) ゴルフマンス観光推進事業

収益目的事業

収1. スポーツプラザ宮崎 J E R S E Y 運営業務

宮崎駅西口拠点施設「KITENビル」の1階で運営する「スポーツプラザ宮崎 J E R S E Y」では、プロ野球12球団の商品販売やキャンプ地みやざきに関連する展示物等を設置し、魅力的な店舗作りを行い、様々なイベントを展開し「スポーツランドみやざき」の情報発信に努める。

また、レンタサイクル貸出しに加え、手ぶら観光や手荷物一時預りサービスを実施し、宮崎のおもてなしの拠点として観光客の利便性の向上と周遊性を高め、受入体制の充実に努める。

収2. プロ野球公式戦・オープン戦等開催事業

1. プロ野球オープン戦等開催業務

法人会計

1. 会議の開催

総務企画委員会、理事会、定時総会等

2. 観光功労者の表彰

3. 会員管理・交流

4. 職員研修

5. 健康宣言の取り組み

6. 宮崎市観光協会リブランディング

当協会は、平成29年に設立70周年を迎え、今後は、100年に向け宮崎市の観光事業に貢献しさらなる推進に努め、国内外から観光誘客と地域活性化に努める。

「公益社団法人宮崎市観光協会」として更なる観光振興と発展に寄与すべく、当協会の愛称を新たに設け、オリジナルロゴ、マークを一新し、各種様々な事業を展開する。

その他関連事業（協力会等）

1. 球春みやざきベースボールゲームズ実行委員会

プロ野球キャンプが沖縄県に一極集中する中、自治体及び団体で構成される「球春みやざきベースボールゲームズ実行委員会」を構成し開催する。

既存キャンプ1軍球団のキャンプ継続及び期間の長期化、キャンプ期間の実戦形式の練習環境の充実を図り、経済効果を高め、他県でキャンプを張るチームへも宮崎での練習試合の開催を呼び掛け参加の依頼を行う。

2. 読売巨人軍宮崎協力会

3. 福岡ソフトバンクホークス宮崎協力会

4. オリックス・バファローズ宮崎協力会

5. Jリーグ等宮崎協力会

6. みやざきフェニックス・リーグ支援実行委員会

7. 渚の交番青島プロジェクト実行委員会

青島ビーチセンター指定管理業務

青島海水浴場管理運営業務

期 間：令和元年7月6日～9月1日

場 所：青島海水浴場

青島ビーチ魅力アップ事業

青島ビーチパークの開設

期 間：平成31年4月22日～令和元年9月29日

場 所：青島海水浴場 渚の交番東側公園内